

新着資料のお知らせ！

三好監物直筆の絵画

仙台陣屋 かわら版

かつて、白老元陣屋の御備頭として活躍した三好監物のご子孫より、陣屋資料館に新たな遺品が寄せられました。これまでも監物侯に縁ある方々からは様々な資料をいただきましたが、今回の寄贈も資料館にとって非常に喜ばしいご厚意です。

寄贈者の小野内裕美さんは、監物侯の6男である清徳の3女の孫、つまり監物侯の玄孫にあたる方です。先の東日本大震災の折、仙台市の南光台にあったご実家が被災され、ご両親が所有していた品々を引き取られたそうです。陣屋資料館には以前にも訪れたことがあるらしく、大切に保管・展示してくれるだろうと思いい立ち、神奈川県からいらしてくれました。

資料は監物侯自らが描きあげた彩色画2点等。2点はいずれも軸調に整えられており、監物侯の遺品のなかでは初めてとなる彩色された品です。武士でありながら詩や絵画にも才能を発揮していた監物侯ですが、彩色するまでの技術と拘りを持っていたことに驚かされました。状態も良好のため、さっそく「三好監物コーナー」で既存の資料と一緒に展示してあります。近くに寄られた際は、ぜひとも一見しにご来場ください。



〈三好監物コーナーで展示中（上）〉

〈寄贈者の小野内さんご一家と葛西館長（右）〉



第99号

（平成25年6月号）

発行：仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666

学芸員のお勉強会

日胆地区学芸職員部会開催

つつんちくがくげいしょくいんぶかい かいさい

胆振と日高の学芸員が集う研修会が、5月9日に浦河町の柏陽館を会場に開催されました。普段、博物館の職員が何をしていのかと思われている事もあるのですが、このような場で学芸員同士が勉強会や情報交換会を行うことで、知識・技術の向上が図られています。今回会場となった浦河町は、海ではコンブに代表される水産業が、陸では競走馬の放牧などが行われています。研修会では漁業組合青年部の方々が、ちようどコンブ漁で忙しいなか講演のために駆けつけ、貴重なお話をしてくださいました。実際の漁で使う道具や漁師たちの必須技術である縄の結び方の実演もあり、非常に貴重な学習の場となりました。参加した学芸員も、コンブ採取の時期や資源保全との兼ね合わせ、またコンブの摂取と毛髪の関係など、様々な質問を寄せていました。

みなさん、連休は楽しく過ごせましたか？ 仙台陣屋資料館は3月から開催していた昭和の写真展、そして恒例の五月人形展を見にいらしたお客さんで賑わいを見せました。今年は特に、町外からの方が多めだった印象があります。長い連休でしたので、ご家族で遠出されていたのでしょうか。

しかし5月5日の子供の日は、そのせいか、例年に比べて静かな一日となりました。新しいクイブスラリーのお披露目は来年までお預けです。とはいえ、鎧の試着を目当てに札幌からお孫さんと来館された方もいて、企画の知名度は上がりつつあるようです。来年も是非、資料館で思い出作りをしてください。楽しい企画を用意してお待ちしています。

資料を蔵出し展示します

資料館には歴史的な文書等はもちろん、町史に関する様々な資料が収蔵されています。これら、普段は収蔵庫にしまわれたままの品々を、不定期ですが、6月からひと月単位で公開していきます。

展示量は資料の種類や大きさによって前後しますが、10点から15点ほどを予定。HPやかわら版でお知らせしますので、お見逃しなく。

6月は、8日(土)から町史に関する記念誌の類をピックアップして紹介します。

陣屋のお知らせ

ア・ラ・カルト

白老歴史講座 6月のお知らせ

6月の月例講座では、このたび3冊目となる白老アイヌの研究書をまとめられた、大須賀るえ子氏にお話をさせていただきました。「明治以来の苦難の時代をアイヌとして生き抜いたその生きざま、何時か明らかにしたい」という想いから纏められた、大須賀氏ご自身の家族にまつわる研究です。

日程 平成25年6月22日(土)

時間 13時30分～15時

会場 白老コミセン204号室

演目 白老アイヌの研究①

その他 宮本イカシマトク・妻サキを中心に
予約・参加料は不要です

寒いけど、賑やかだったゴールデンウィーク



不定期連載 「陣屋再発見」
仮称 「シベツ河口付図」

陣屋資料館には、近世、和人の足が伸び難かった道東を描いた地図が展示されています。この地域で活躍した人物が、加賀伝蔵です。伝蔵は秋田県で加賀家初代徳兵衛の次男として誕生します。15歳のとき蝦夷地へ渡り、クスリ場所と呼ばれていた今の釧路で働きながら、付近のアイヌのリーダー格であった人物からアイヌ語を習得し、加賀家文書と呼ばれる資料を残しました。後年になるとネモク場所のノツケで止宿守(宿場の管理人)や通辞役(通訳)、数年後にはシベツ場所の支配人となりました。

地図には伝蔵が後年に活躍した、標津や別海といった内陸地域が記されています。船渡しの場所も書き込まれている、じっくり眺めて楽しい資料です。



「仙台陣屋かわら版第99号(平成25年6月号)」

発行日:平成25年5月22日(水)

発行所:仙台藩白老元陣屋資料館

担当者:平野・亀井

<http://www.town.shiraai.hokkaido.jp/bunka/jinya/>

Mail: jinya@town.shiraai.jp